

親子関係と子どもの社会性の発達

— 日本と韓国の比較を中心にして —

筑波大学心理学系 新井邦二郎・高野 清純・丹羽 洋子・藤生 英行

筑波大学大学院(博)心理学研究科 尹 熙奉・小林 真・広田 信一

谷島 弘仁・松尾 直博・李 晶圭

Parent-child relationships and social development of children: A comparison of Japan and Korea

Kunijiro Arai, Seijun Takano, Yoko Niwa, Hideyuki Fujiu, Heebong Yoon, Makoto Kobayashi, Shinichi Hirota, Hirohito Yajima, Naohiro Matsuo and Joengkyu Lee (*Institute of Psychology, University of Tsukuba, Tsukuba 305, Japan*)

The purposes of this study were (a) to improve the parent-child relationship scale constructed in our previous study, and examine its construct validity and reliability; (b) to clarify the effects of father and mother rearing patterns upon their children's social behaviors; (c) to compare Japanese parent-child relationship with Korean parent-child relationships. The subjects were 413 fifth and sixth-grade students and their parents in Japan and Korean. The results from the two diverse samples are considered, and the following points are noted. There was no strikingly linear relation between parent rearing patterns and children's social behavior in Japan, but there was a positive relation in Korea. Children's social skill was clearly associated with mother's rearing behavior, but not with father's. The specificity and predictability of the observed patterns of correlation support the construct validity of interpretation based on the new parent-child relationship scale.

Key words: parent-child relationship, father, mother, social behavior, school age children, Japanese, Korean.

I 本研究の目的

私たちは、親子関係のあり方と子どもの社会的発達との関係を明らかにするという目的のために、新しい観点からの親子関係尺度(質問紙)を作成し、その結果を昨年、報告した(新井, 高野, 庄司, 丹羽, 藤生ほか, 1993)。その親子関係尺度(質問紙)の特徴は、次のようなものであった。

①親子関係の次元の一つに、親の知識(認知)をとり入れた。

②親の愛情を質的にとらえることができるように

した。

③父親、母親の回答を別々の質問紙から得るようにした。

④親の回答と同時に、子どもの回答を得るようにした。

以上のような特徴を有する親子関係尺度(質問紙)を、前研究では日本と韓国の小学校3～6年までの児童とその両親を対象に実施した。その結果、この尺度に次の3つの問題点が見い出された。

①親の愛情は、「子ども中心の愛情」「自己(親)中心の愛情」「子どもへの愛情無し」の3つに分け

られたが、それぞれの愛情の高低を量的に表示する手立てが欠けていた。

②親子関係尺度の父親版、母親版の質問項目数が、「子どもの行動についての知識(認知)」が16項目、「子どもに対する自分の行動についての知識(認知)」が16項目、「子どもの行動の支配(統制)」が16項目、「親の愛情」が8項目で、合計56項目となり、全体として項目数が多く、回答が負担であるという意見が寄せられた。

③親子関係尺度の子ども版が、「親の支配・統制」と「子どもの行動についての親の知識・認知」の2つだけであったが、「親の愛情」についての子どもの受け止め方も知る必要がある。

これらの問題点を次のように改善した。

①親の愛情を「子ども中心の愛情」と「自己(親)中心の愛情」の2つに分け、それぞれの愛情の高低を量的に表示できるようにした。

②親子関係尺度の父親版、母親版の質問項目数をI-T相関値の低いものを除くという原則のもとに精選した。その結果、「子どもの行動についての知識(認知)」が9項目、「子どもに対する自分の行動についての知識(認知)」が7項目、「子どもの行動の支配(統制)」が7項目、「親の愛情」が8項目で、合計31項目とした。

③親子関係尺度の子ども版の下位尺度として、「親の愛情」を新たに設けた。

このような改善を行った親子関係尺度(質問紙)を用いて、次のようなことを明らかにすることを本研究の目的とする。

①父親の養育特徴と子どもの全般的な行動傾向(教研式POEM)との関係、および同じく母親の養育特徴と子どもの全般的な行動傾向との関係を明らかにする。

②父親の養育特徴についての子どもの認知と子どもの全般的な行動傾向(教研式POEM)との関係、および同じく母親の養育特徴についての子どもの認知と子どもの全般的な行動傾向との関係を明らかにする。

③父親の養育特徴と子どもの社会性(「友だち関係」調査)との関係、および同じく母親の養育特徴と子どもの社会性との関係を明らかにする。

④父親の養育特徴についての子どもの認知と子どもの社会性(「友だち関係」調査)との関係、および同じく母親の養育特徴についての子どもの認知と子どもの社会性との関係を明らかにする。

なお、以上のような目的のほかに、親子関係尺度(質問紙)の妥当性、信頼性についても新たに検討を行う。

さらに、本研究は前研究と同様に、日本と韓国の児童を対象に調査を行っている。それは、前述した4つの検討点についての日韓比較も本研究の重要な目的の一つである。韓国は、日本の最も近い隣国であり、日本と文化・歴史的にも非常に深いつながりをもっている。これまでのところ、韓国は日本よりも、大家族が多く存在し、家族どうしのつながりも強く、これらを精神面で支える儒教的精神も色濃く存在していると言われている。しかし、他面、日本以上に急速な近代化を体験しており、それが家族どうしの関係や子育てに大きな影響を与えているとされている。このように、韓国の親子関係は、きわめて流動的な現状にある。日本と韓国の比較から、それぞれの国の親子関係ならびにそこでの子どもの社会的発達の特徴や問題点を浮き彫りにすることができよう。こうした視点からの研究も、本研究の大きな特徴と言える。

Ⅱ 方法

1 基礎調査

質問紙の実施に先だって、それぞれの子どもの家族構成を明らかにするため、以下のような個人データが収集された。

- 1) 父親の年齢
- 2) 母親の年齢
- 3) 同居者(祖母, 祖父, 叔父, 叔母, その他())
- 4) きょうだいの年齢と性別

2 親子関係尺度の構成

①父親版尺度・母親版尺度

新井ほか(1993)で作成された、新しい観点からの親子関係尺度を再び検討し、ここでは以下のような親用尺度と子ども用尺度が作成された。

両親用尺度では「父親版」と「母親版」の2種類からなり、まず「父親版」の質問紙では、認知(知識)の次元からは、「父親の子どもの行動についての知識(以下F1と略す)」に関する項目が9項目、「父親の子どもに対する自分の行動についての知識(以下F2と略す)」に関する項目が7項目から成り立っている。支配(統制)の次元については、「父親の子どもの行動の支配(以下F3と略す)」に関するものが7項目選択された。

愛情の次元は、「父親の子ども中心の愛情(以下F4と略す)」「父親の親(自己)中心の愛情(以下F5と略す)」の2つのカテゴリについて、8項目の質問項目が作成された。

回答形式は、「よくあてはまる」～「まったくあてはまらない」までの4件法でなされ、それぞれ、

4点～1点で得点化された。

「母親版」の質問紙では、認知(知識)の次元から「母親の子どもの行動についての知識(以下M1と略す)」、「母親の子どもに対する自分の行動についての知識(以下M2と略す)」、支配(統制)の次元から「母親の子どもの行動の支配(以下M3と略す)」に関するもの、さらに愛情の次元から「母親の子ども中心の愛情(以下M4と略す)」と「母親の親(自己)中心の愛情(以下M5と略す)」の2つのカテゴリーについて、「父親版」と同じように質問項目が作成された。

以上から、「父親版」「母親版」とも、質問項目は計31項目となった。

②子ども版尺度

子ども版尺度は、「父子関係」をみるものと「母子関係」をみるものの、2つから成り立っている。まず「父子関係」測定質問紙では、認知の次元に関しては、「子どもの行動についての父親の知識に対する子どもの認知(以下CF1と略す)」と、支配の次元に関しては「父親の支配に対する子どもの認知(以下CF2と略す)」が設定されている。また今回新たに愛情の次元から「父親の愛情に対する子どもの認知(以下CF3と略す)」を付加し、これら3つの観点からそれぞれ8項目ずつ下位尺度が作成された。したがって質問項目は、合計24項目から成り立っている。

同様に「母子関係」測定質問紙では、「子どもの行動についての母親の知識に対する子どもの認知(以下CM1と略す)」と「母親の支配に対する子どもの認知(以下CM2と略す)」、さらに「母親の愛情に対する子どもの認知(以下CM3と略す)」の3つの観点から作成された、合計24項目からなっている。

回答形式はいずれも、「とてもそうです」から「まったくちがいます」までの4件法でなされた。

3 教研式 POEM

父親・母親の養育特徴と子どもの全般的な行動傾向との関係を明らかにするため、教研式 POEM 尺度(高野ほか, 1991)が用いられた。下位尺度は、「受容感(以下P1と略す)」「効力感(以下P2と略す)」「セルフコントロール(以下P3と略す)」「不安傾向(以下P4と略す)」「対人積極性(以下P5と略す)」「向社会性(以下P6と略す)」「攻撃性(以下P7と略す)」「内的帰属(以下P8と略す)」「外的帰属(以下P9と略す)」の計9つから成り立っており、それぞれの行動傾向の測定が可能となっている。回答形式は「よくあてはまる」から「まったくあてはまらない」まで4件法でなされ、合計90項目からな

りたっている。

4 「友だち関係」調査

父親・母親の養育特徴と子どもの社会的行動との関連を明らかにするため、庄司(印刷中)の社会的スキル尺度が用いられた。その中から、「共感・援助的かわり(以下CS1と略す)」「積極的・主張的かわり(以下CS2と略す)」「からかい・妨害的かわり(以下CS3と略す)」の3つの下位尺度が用いられた。回答形式は、「いつもしている」から「まったくしていない」までの4件法でなされ、質問項目は合計18項目から成り立っている。

5 発達研式親子関係診断検査

本研究で用いられた親子関係尺度の妥当性の検討のために、発達研式親子関係診断検査(詫摩, 1991)が用いられた。そのうち、「学習における(受容・拒否)」、「日常生活における(受容・拒否)」、「学習における(統制・尊重)」、「日常生活における(統制・尊重)」の4つの下位尺度が用いられ、それぞれ4項目ずつ合計16項目から構成された。

回答形式は、「よくあてはまる」から「まったくあてはまらない」までの4件法でなされた。

6 被験者

①日本サンプル

富山県内の公立小学校 5年生112名(男子56名, 女子56名), 6年生117名(男子59名, 女子58名)
合計229名の児童とその両親

②韓国サンプル

ソウル市内公立小学校 5年生85名(男子45名, 女子40名), 6年生99名(男子47名, 女子52名)
合計184名の児童とその両親

7 手続き

①調査期間

日本サンプル 1993年 5月下旬～6月上旬

韓国サンプル 1993年 2月下旬

②実施方法

子どもの被験者に対しては、クラスごとの集団形式で、「子ども版尺度」、「教研式 POEM」、「友だち関係調査」が実施された。実施者は学級担任教師で、事前に実施上の注意事項が詳細に説明されていた。実施に際しては、教師が回答の仕方を説明した後、一斉に回答を記入する方式がとられた。

その親(父親と母親)の被験者に対しては、それぞれの子どもが各家庭に持ち帰る形で、回答がなされた。回答の際には、「2人で相談する事のないように」、「1週間の期限で提出するように」との注意がなされた。

子ども版・父親版・母親版いずれも無記名で実施され、各用紙に親子で同一のナンバーをふることに

よって、後の分析でマッチングが可能となるように配慮された。

Ⅲ 結果と考察

1 親子関係尺度(父親版, 母親版)の妥当性

本研究で実施された親子関係尺度の妥当性を検討するために、既存の尺度である発達研式親子関係診断検査を基準として、親用尺度との相関が求められた。本検査の「父親版」および「母親版」のそれぞれについて、支配尺度と発達研式検査の統制-尊重尺度、および愛情尺度と発達研式検査の受容-拒否尺度の相関が求められた。支配尺度と統制-尊重尺度の相関係数を Table 1 に、愛情尺度と受容-拒否尺度との相関係数を Table 2 に示す。

Table 1 からわかるように、支配尺度は、「父親版」「母親版」共に、発達研式検査の学習および日常生活における統制-尊重尺度との間に中程度の有意な相関が得られた。すなわち、学習場面であろうと日常生活場面であろうと、親が子どもに対して支配的に接していると感じているほど、子どもは親から統制を受けていると感じる傾向にある。したがって、本研究の親用尺度のうち、支配尺度はほぼ妥当であるといえよう。

愛情尺度に関しては、相関係数はいずれも低かったが、「父親版」と「母親版」では異なる結果が得られた。「父親版」尺度に関しては、F4 尺度と日常生活における受容-拒否尺度の間にのみ有意な正の相関が得られた。したがって、父親が日常生活において子どものことを思って行動するときには、子どもは自分が受容されていると感じる傾向がみられるが、学習の場合には、子どもは父親の行動を肯定的にも否定的にも感じていないことがわかる。

「母親版」尺度に関しては、学習場面と日常生活場面の両方において、M4 尺度と受容-拒否尺度の

間に正の相関がみられた。また、M5 尺度は日常生活場面における受容-拒否尺度との間に有意な負の相関を示した。したがって、母親が子どものことを思って行動するときには、子どもは自分が受容されていると感じる傾向にある。母親が日常生活において自分の都合で行動するときには、子どもはむしろ拒否されていると感じる傾向にあるといえる。学習場面における M5 尺度は、受容-拒否尺度と有意な相関を持たなかったことから、学習に関しては、母親が親中心に行動しても、子どもは肯定的にも否定的にも受け取っていないといえよう。

以上の結果から、愛情尺度に関しては、「父親版」尺度では子どもの受け止め方とある程度一致していたが、「母親版」尺度は、かなり子どもの受け止め方と一貫した傾向がみられた。本検査は、親が子どもに向ける愛情を子ども中心であるか親中心であるか、という観点から測定した新しい検査であり、既存の尺度と一定の相関を得ることができた。

2 親子関係尺度(父親版, 母親版)の信頼性

本研究で使用された親子関係尺度の信頼性を検討するために、日本サンプル、韓国サンプルのそれぞれに対して、「父親版」「母親版」の各尺度の α 係数と I-T 相関係数が求められた。 α 係数と I-T 相関係数の範囲を Table 3 に示す。

日本サンプル、韓国サンプルのいずれにおいても、子どもの行動についての知識尺度(F1 および M1) は高い内的整合性を示していた。しかし、自分の行動についての認知尺度(F2 および M2) の α 係数はやや低く、項目間で被験者の回答の一貫性が少ないことが示された。支配尺度(F3 および M3) の α 係数も十分に高いとはいえない。しかし先に述べたように、支配尺度は発達研式親子関係診断検査の

Table 1 支配尺度と統制-尊重尺度の相関

	学習	日常
F3	.369***	.354***
M3	.315***	.340***

*** $p < .001$

F3 ……父親の支配

M3 ……母親の支配

学習……(発達研式検査)学習における統制-尊重

日常……(発達研式検査)日常生活における統制-尊重

Table 2 愛情尺度と受容-拒否尺度の相関

	学習	日常
F4	.066	.173**
F5	.051	-.058
M4	.190**	.198**
M5	-.073	-.173**

** $p < .01$

F4 ……子ども中心の父親の愛情

F5 ……自分中心の父親の愛情

M4 ……子ども中心の母親の愛情

M5 ……親中心の母親の愛情

学習……(発達研式検査)学習における受容-拒否

日常……(発達研式検査)日常生活における受容-拒否

Table 3 父親版・母親版親子関係尺度の得点, 信頼性および日・韓比較

尺度	日本		韓国		t 値
	平均値(SD)	α (I-T の範囲)	平均値(SD)	α (I-T の範囲)	
F 1	15.85(3.49)	.66(.49~.80)	16.86(3.27)	.59(.37~.71)	2.84**
F 2	15.94(3.22)	.12(-.06~.27)	16.54(3.28)	.12(-.10~.19)	1.72+
F 3	26.55(4.72)	.62(.14~.39)	29.81(4.60)	.54(.02~.34)	6.56**
F 4	22.27(3.88)	.66(.15~.50)	23.02(2.81)	.25(.02~.25)	2.09*
F 5	17.64(4.75)	.81(.42~.61)	23.68(3.67)	.63(.17~.51)	13.19**
M 1	17.74(2.92)	.64(.43~.77)	17.90(3.51)	.67(.41~.83)	0.47+
M 2	17.09(2.51)	.26(.13~.21)	17.91(3.37)	.16(-.12~.30)	2.59**
M 3	28.20(4.13)	.57(.03~.38)	31.32(4.20)	.46(-.08~.44)	7.16**
M 4	24.12(3.13)	.50(.05~.38)	23.48(2.53)	.20(-.02~.18)	2.14*
M 5	19.07(4.46)	.75(.38~.57)	24.59(3.63)	.66(.25~.47)	12.83**

+ $p<.10$ * $p<.05$ ** $p<.01$

注) 各下位尺度の名称は以下の通りである。

F 1 ……子どもの行動についての父親の知識

F 2 ……自分の行動についての父親の認知

F 3 ……父親の支配

F 4 ……子ども中心の父親の愛情

F 5 ……自分中心の父親の愛情

M 1 ……子どもの行動についての母親の知識

M 2 ……自分の行動についての母親の認知

M 3 ……母親の支配

M 4 ……子ども中心の母親の愛情

M 5 ……自分中心の母親の愛情

(以下同様)

統制—尊重尺度と正の相関を示しており、項目に若干の修正を加えるならば、妥当でかつ信頼性の高い尺度として構成することができよう。

愛情に関する尺度のうち、子ども中心の愛情(F 4 および M 4) は、 α 係数がそれほど高くない。特に韓国サンプルではその傾向が顕著である。日本サンプルにおける F 4 尺度の α 係数はほぼ妥当な範囲にあるが、M 4 尺度はやや低い。韓国サンプルにおいては、F 4、M 4 共に整合性が非常に低い。これは、韓国の親は、しつけの領域によって子ども中心の愛情を表現したりしなかったりするのかもしれない。それとの比較で言えば、日本サンプルの方が比較的一貫した傾向を示している。親中心の愛情尺度(F 5 および M 5)については、日本サンプル・韓国サンプル共に高い信頼性が得られている。

3 親子関係尺度(父親版, 母親版)の結果の日韓比較

父親版・母親版親子関係尺度の各下位尺度の平均値について、日本サンプル、韓国サンプルの間の差を t 検定によって比較した。その結果が Table 3 に示されている。

父親版親子関係尺度においては、いずれの下位尺度においても韓国サンプルの平均値のほうが高い値を示した。F 2 における日韓間の平均値の差が、有意傾向であったのを除き、いずれも統計的な有意差が確認された。特に、F 5 において、その差が顕著

であった。

また、母親版親子関係尺度においても、M 4 を除いて、いずれの下位尺度でも韓国サンプルの平均値のほうが高い値を示した。M 1 における日韓間の平均値の差が、有意傾向であったのを除くと、いずれも統計的な有意差が確認された。父親版親子関係尺度と同じように、M 5 においてその差が顕著であった。

これらの結果は、全般的に日本のサンプルの両親よりも、韓国のサンプルにおいて、親の子に対する積極的なかわりを示しているといえよう。しかし、M 4 において、韓国のサンプルより日本のサンプルの得点が高かったということは、日本の母親が、韓国の母親よりも子どもに対して子ども中心的な愛情を示していることと考えられる。そして、F 3 と M 3、特に F 5 と M 5 においてみられた日・韓サンプルの間の大きな差は、韓国サンプルの両親が子どもに対して支配的であり、従って子どもに対する愛情も子ども中心よりも親中心の愛情が強いことを示唆している。

4 親子関係尺度(子ども版)の結果の日韓比較

子ども版親子関係尺度の下位尺度それぞれについて、日本サンプルと韓国サンプル間の平均値の差について検討するために、t 検定が行われた(Table 4)。その結果、CF 1 を除いたすべての下位尺度におい

て、1%水準で有意差がみられた。CM1において日本のサンプルの得点が韓国サンプルよりも高かったものの、それ以外のいずれの下位尺度においても、韓国のサンプルの得点のほうが高かった。

このような結果から見ると、日本のサンプルよりも韓国のサンプルの子どもが両親の自分に対する支配や愛情についてよく認知していることになる。また、母親版親子関係尺度のM4に示されたように、日本の母親が韓国の母親よりも子どもに対して子ども中心的な愛情を持っている点について、ここでも確認された。つまり、CM1において韓国のサンプルよりも日本のサンプルの得点のほうが高いということは、韓国の子どもより日本の子どもが自分の行動についての母親の知識をよく認知・把握していると考えられる。

5 祖父母同居の有無と親子関係尺度(父親版、母親版)の結果の日韓比較

父親版・母親版親子関係尺度の平均値について同居している祖父母の有無ごとに日韓比較を行い、その結果をTable 5に示す。祖父母の同居がある父母についてのt検定で、日本と韓国の間で有意な差がみられたのはF3, M3, M2, F5, M5($p < .01$)であった。また、祖父母の同居がない父母についてのt検定で、日韓の間に有意差がみられたのはF1, F3, F4, F5, M3($p < .01$)であり、M2, M4で有意傾向($p < .10$)がみられた。これらの変数で

は、いずれも韓国サンプルの方が高い得点を示した。

このような結果からみる限り、祖父母の同居の有無両方で、両親による子どもの統制が韓国の方が日本よりも高いことが明らかにされた。さらに、韓国の母親の方が日本の母親よりも自分の行動についての認知の得点が高く、韓国の父親は自分中心の愛情が高い傾向がみられた。また、祖父母が同居している場合は、韓国の母親の方が日本の母親よりも自分中心の愛情の得点が高く、祖父母が同居していない場合は、韓国の父親の方が日本の父親よりも子どもの行動についての知識を持っており、愛情も多いと考えていることが明らかにされた。

6 祖父母同居の有無と親子関係尺度(子ども版)の結果の日韓比較

子ども版親子関係尺度の平均値について、同居している祖父母の有無ごとに日韓比較を行い、その結果をTable 6に示す。祖父母が同居している子どもについてのt検定で日本と韓国のサンプルの間に有意な差がみられたのはCF2とCM2($p < .01$)であった。また、祖父母の同居がない子どもについてのt検定において、日韓間に有意な差がみられたのは、CF2, CF3, CM2($p < .01$)とCM3($p < .05$)であり、CM1で有意傾向がみられた($p < .10$)。いずれの変数においても、韓国サンプルの得点が日本サンプルの得点よりも高かった。

これらの結果から、祖父母の同居に関わらず韓国

Table 4 子ども版親子関係尺度得点の日・韓比較

	日本	韓国	t 値
CF 1	20.52(4.67)	20.82(3.55)	0.72
CF 2	18.44(4.92)	22.48(3.69)	9.28**
CF 3	24.53(4.95)	25.57(4.48)	2.19**
CM 1	24.30(3.89)	23.27(3.55)	2.77**
CM 2	21.74(4.28)	23.85(3.23)	5.62**
CM 3	25.94(4.73)	26.79(3.75)	1.99**

+ $p < .10$ * $p < .05$ ** $p < .01$

1) 数字は各尺度の得点の平均値, () の数字は標準偏差を示す。

2) 各下位尺度の名称は以下の通りである。

- CF 1 ……子どもの行動についての父親の知識に対する子どもの認知
 CF 2 ……父親の支配に対する子どもの認知
 CF 3 ……父親の愛情についての子どもの認知
 CM 1 ……子どもの行動についての母親の知識に対する子どもの認知
 CM 2 ……母親の支配に対する子どもの認知
 CM 3 ……母親の愛情についての子どもの認知
 (以下同様)

Table 5 父親版・母親版親子関係尺度得点の日韓比較
(祖父母の同居の有無別に算出)

同居		日本	韓国	t 値
有	F 1	15.88(3.52)	16.32(2.91)	0.58
	F 2	15.98(2.98)	17.11(3.80)	1.20
	F 3	26.38(4.54)	31.12(4.66)	3.80**
	F 4	22.66(4.12)	23.22(2.86)	0.70
	F 5	17.69(4.64)	26.39(3.31)	9.52**
	M 1	17.76(2.99)	18.50(3.72)	0.83
	M 2	17.12(2.63)	19.05(2.74)	2.88**
	M 3	28.28(3.99)	33.26(3.18)	6.02**
	M 4	24.00(3.00)	23.37(2.19)	0.85
	M 5	18.84(4.42)	25.95(4.08)	6.83**
無	F 1	15.81(3.47)	16.93(3.32)	2.33**
	F 2	15.88(3.57)	16.46(3.21)	1.17
	F 3	26.84(5.02)	29.65(4.56)	4.01**
	F 4	21.70(3.43)	22.99(2.18)	2.80**
	F 5	17.91(4.73)	23.30(3.57)	8.51**
	M 1	17.70(2.83)	17.81(3.49)	0.26
	M 2	17.05(2.32)	17.75(3.42)	1.80+
	M 3	28.06(4.36)	31.06(4.26)	5.00**
	M 4	24.32(3.33)	23.49(2.48)	1.93+
	M 5	19.67(4.26)	24.39(3.54)	0.15

+ $p < .10$ * $p < .05$ ** $p < .01$

の子どもの方が日本の子どもよりも、両親から統制されていると認知していることが明らかにされたといえる。それに加えて、祖父母と同居していない家

族においては、韓国の子どもの方が日本の子どもよりも両親から愛情を受けていると感じていることが明らかにされた。

7 親子関係尺度の父親版・母親版と子ども版との関係

父親版・母親版親子関係尺度と子ども版親子関係尺度の得点の相関係数を日本と韓国のサンプルごとに算出し、Table 7、Table 8 に示した。日本サンプルにおいて 1%水準で有意な相関がみられたのは、F1 と CF1、F1 と CF2、F3 と CF1 との間のみで、5%水準で有意な相関がみられたのは、F1 と CF3、F2 と CF1、F2 と CF2、F2 と CF3、F3 と CF2、M3 と CM2、F4 と CF1、F4 と CF2 の間であった。また、M1 と CM1、F4 と CF3、F4 と CM3、M4 と CF2 (負)、M5 と CF3、M5 と CM3 (負) との間で有意傾向($p < .10$)がみられた。

それに対して、韓国サンプルでは F1 と CF1、F1 と CF2、F2 と CF2、F2 と CF3、M1 と CF1、M1 と CF2、M1 と CM1、M1 と CM2、M2 と

Table 6 子ども版親子関係尺度得点の日韓比較(祖父母の同居の有無別に算出)

	同居	日本	韓国	t 値
有	CF 1	20.55(4.60)	20.37(3.52)	0.19
	CF 2	18.17(4.98)	21.40(3.97)	3.19**
	CF 3	25.05(4.54)	25.50(4.55)	0.43
	CM 1	24.40(3.90)	23.63(3.02)	0.98
	CM 2	21.63(4.31)	23.95(2.84)	5.71**
	CM 3	26.25(4.43)	26.95(3.73)	0.75
無	CF 1	20.47(4.79)	20.87(3.56)	0.67
	CF 2	18.16(4.84)	22.61(3.65)	6.21**
	CF 3	23.73(5.45)	25.58(4.49)	2.67**
	CM 1	24.15(3.91)	23.23(3.62)	1.82 ⁺
	CM 2	21.92(4.24)	23.84(3.29)	3.64**
	CM 3	25.47(5.26)	26.77(3.77)	2.06**

⁺ $p < .10$ ** $p < .05$ *** $p < .01$

Table 7 父親版・母親版親子関係尺度と子ども版親子関係尺度の相関(日本サンプル)

	CF 1	CF 2	CF 3	CM 1	CM 2	CM 3
F 1	.2398**	.2455**	.1772*	.0463	.0688	.0655
F 2	.1662*	.1778*	.1545*	-.0313	.0036	.0378
F 3	.1715**	.1554*	.1185 ⁺	-.0089	.0095	.0431
F 4	.1486*	.1492*	.1224 ⁺	.0588	.0487	.1194 ⁺
F 5	-.0019	.0467	-.0137	-.0213	.0451	-.0121
M 1	.0832	.0754	.0298	.1156 ⁺	.0700	.0271
M 2	.0000	-.0281	-.0548	.0076 ⁺	.0168	.0362
M 3	.1179 ⁺	.1147 ⁺	-.0016	.0677	.1324*	-.0441
M 4	-.0653	-.1143 ⁺	-.0124	-.0382	-.0726	-.0935
M 5	.0203	.0439	-.1162 ⁺	.0167	.0045	-.1478

⁺ $p < .10$ * $p < .05$ ** $p < .01$

Table 8 父親版・母親版親子関係尺度と子ども版親子関係尺度の相関(韓国サンプル)

	CF 1	CF 2	CF 3	CM 1	CM 2	CM 3
F 1	.2230**	.2284**	.1888*	.1797*	.1884*	.1346 ⁺
F 2	.1765*	.2087**	.2512**	.1091 ⁺	.1501*	.1361 ⁺
F 3	-.0240	.0922	.0528	-.1220 ⁺	.0424	-.0355
F 4	-.0232	-.0400	-.0010	-.0629	-.0924	.1107
F 5	-.0337	-.1190 ⁺	-.0801	-.0736	-.1823*	.0495
M 1	.2464**	.2174**	.1702*	.3316**	.3669**	.1652*
M 2	.1591*	.1435*	.2324**	.2772**	.2773**	.1668*
M 3	.1331 ⁺	.0455*	.1661*	.1209 ⁺	.1730*	.1028
M 4	-.1402 ⁺	-.1126	-.0062	-.2356**	-.1797*	.0162
M 5	-.0724	-.1359 ⁺	-.1525*	-.0765	-.1321 ⁺	-.0908

⁺ $p < .10$ * $p < .05$ ** $p < .01$

CF3, M2とCM1, M2とCM2, M4とCM1(負)との間で1%水準の有意な相関, F1とCF3, F1とCM1, F1とCM2, F2とCF1, F2とCM2, M1とCF3, M1とCM3, M2とCF1, M2とCF2, M2とCM3, M3とCF3, M3とCM2, F5とCM2(負), M4とCM2(負), M5とCF3(負)との間で5%水準で有意な相関, F1とCM3, F2とCM1, F2とCM3, M3とCF1, M3とCM1, F5とCF2(負), M4とCF1, M5とCF2, M5とCM2(負)との間で有意傾向がみられた($p < .10$).

全体として, 韓国サンプルの方が日本のサンプルよりも, 親子間の各変数どうしの関係が多くみられる特徴が明らかになった. 特に注目すべき点は, 母親の子どもの行動, 自分の行動についての知識と, 子ども側の両親に対する認知の間の関係であり, 日本サンプルではM3とCM2との間に5%で有意な相関, M1とCM1との間に有意傾向がみられただけにとどまったのに対して, 韓国サンプルでは多くの変数の間に有意な相関がみられた. この結果が, 子どもが母親から自分にむけられた関心に気づいているという傾向を示すのであるとすれば(新井ら, 1993), その傾向は日本より韓国のほうがより強いということが考察される.

8 親子関係尺度(父親版, 母親版)の結果と子どもの全般的な行動傾向(POEM)

父親版尺度および母親版尺度と子どもの行動傾向の関連を検討する. 子どもの行動傾向を測定する測度として, 教研式POEMを使用した. この測度は小学校5年・6年を対象としており, 90項目から構

成されている. 下位尺度として, 受容感, 効力感, セルフコントロール, 不安傾向, 対人積極性, 向社会的性, 攻撃性, 内的原因帰属, 外的原因帰属があり, さらにライスケールが含まれている.

日本サンプルの父親版尺度および母親版尺度と子どもの行動傾向(POEM)との相関係数を算出した結果がTable 9に示されている. まず, F1と子どもの行動傾向の下位尺度について検討すると, 受容感および対人積極性とのあいだで5%水準で有意な相関が得られた. また, 不安傾向との間に, 5%水準で有意な負の相関が認められた. F3について検討すると, 受容感と5%水準で相関が見られた. F4と不安傾向との間に5%水準で有意差が見られた. また, F4と攻撃性との間に5%水準で有意差が認められた. F5と効力感, F5と向社会的性, F5と内的帰属との間に1%水準で有意な相関が認められた.

M1についてみると, 対人積極性との間で5%水準で相関が認められた. M2についても, 対人積極性との間で5%水準で相関が認められた. しかしながら, M3～M5と子どもの行動傾向の各下位要因の間に有意な相関は認められなかった. 日本サンプルで特徴的なことは, F5(自分中心の父親の愛情)において, 子どものP2(効力感), P6(向社会的性), P8(内的帰属)と高い正の相関がみられたことである. これと対比して, F4(子ども中心の父親の愛情)と子どものP4(不安傾向), P7(攻撃性)とに高い正の相関がみられている.

同様に, 韓国サンプルの結果が, Table 10に示されている. 日本サンプルの相関パターンとある程度

Table 9 父親版・母親版尺度と子どもの行動傾向(POEM)の相関(日本サンプル)

	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9
F1	.1385*	.0790	.0828	-.1408*	.1384*	-.0096	-.0788	-.0060	-.0740
F2	.0429	.0383	.0866	-.0745	.1010	-.0131	-.1004	-.0676	-.0478
F3	.1494*	.0904	-.0133	-.0720	.0575	.0108	-.0459	-.0352	-.1158 ⁺
F4	.0321	.0290	-.0543	.1533*	.0392	.0512	.1678*	.0824	-.0168
F5	.1063 ⁺	.2055**	.0204	.1081 ⁺	.1314 ⁺	.2075**	.0086	.2036**	.0244
M1	.0940	.0997	-.0198	-.0860	.1844*	.0119	.0851	-.0540	-.0859
M2	.0920	.1042	-.0355	-.0799	-.1670*	-.0049	.0480	-.0878	-.0748
M3	-.0038	.1036	.0909	-.0857	.1273 ⁺	-.0280	.1124 ⁺	.0040	-.0897
M4	.0928	-.0071	-.0268	.1026	.1054 ⁺	.0092	.0195	-.0383	-.0179
M5	-.0861	.0233	-.0575	.1126 ⁺	.0691	.0198	.0987	.0457	.0312

⁺ $p < .10$ * $p < .05$ ** $p < .01$

P1: 受容感 P2: 効力感 P3: セルフコントロール P4: 不安傾向 P5: 対人積極性
P6: 向社会的性 P7: 攻撃性 P8: 内的帰属 P9: 外的帰属
(以下同様)

類似した結果となっているが、韓国サンプルの方が F1・F2 や M1・M2, すなわち父母の自分や子どもの行動の認知と POEM における受容感, 効力感, 対人積極性, 向社会性との相関において有意な相関が得られた。まず, F1 については, 受容感と 1%水準で有意な相関が得られた。効力感との間に 5%水準で有意な相関が認められた。対人積極性と 1%水準で有意な相関が得られた。また, 向社会性との間に 5%水準で有意な相関が認められた。不安傾向と F1 の間に 1%水準で有意な負の相関が, および外的帰属と F1 の間に 5%水準で負の相関が得られた。F2 について検討すると, 受容感および効力感との間に 5%水準で有意な相関が得られた。対人積極性との間に 1%水準で有意な相関が得られた。不安傾向と F2 の間に 5%水準で有意な負の相関が, および外的帰属と F2 の間に 1%水準で負の相関が得られた。F3 では, 受容感と 5%水準で有意な相関が得られたのみである。F4 について検討すると, まず対人積極性との間に 1%水準で負の相関が認められた。また, F4 と向社会性との間に 5%水準で負の相関が見られた。また, F4 と攻撃性との間に 5%水準で正の相関が認められた。F5 については, 内的帰属との間に 5%水準で負の相関が認められた。

M1 については, 受容感, 効力感, 対人積極性, 向社会性と 1%水準で相関が得られた。不安傾向との間に 1%水準で負の相関が得られた。M2 について検討すると, 受容感および対人積極性との間に 1%水準で有意な相関が認められた。M2 と効力感および向社会性との間に 5%水準で有意な相関が認められた。また, M2 と攻撃性との間に 5%水準で有意な負の相関が認められ, 外的帰属との間に 1%

水準で有意な負の相関が認められた。M3 と子どもの行動傾向に関しては, 受容感および対人積極性との間に 5%水準で有意な相関が認められた。M4 について検討すると, 対人積極性との間に 1%水準で負の相関が見られた。つぎに, M4 と内的帰属の間に 5%水準で負の相関が見られた。M4 と外的帰属の間に 1%水準で正の相関が認められた。M5 について検討すると, 効力感との間に 5%水準で有意な負の相関が見られた。また, 内的帰属との間に 5%水準で有意な相関が見られた。さらに, 対人積極性との間に 1%水準で有意な負の相関が認められた。

韓国サンプルで特徴的なことは, 父親・母親の自分や子どもに対する知識(F1, 2, M1, 2)が, 子どもの P1 (受容感), P2 (効力感), P4 (不安傾向), P6 (向社会性), P9 (外的帰属)と高い相関をもっていることである。また, 父親・母親の自分中心の愛情(F5, M5)がこれらの子どもの行動特性と負の相関を持っていること, さらに父親及び母親の子ども中心の愛情(F4, M4)もこれらの行動と負の相関をもつ傾向にあることも指摘できる。

9 親子関係尺度(子ども版)の結果と子どもの全般的な行動傾向(POEM)

子ども版尺度と POEM の間には日本サンプル, 韓国サンプルともに有意な相関が多く認められた。日本サンプルの結果は Table 11 に, 韓国サンプルの結果は Table 12 に示されている。日本サンプルと韓国サンプルの傾向を比較すると, POEM における受容感(P1)については, 子ども版尺度のいずれの下位尺度とも有意な相関が, 両者において認められた。効力感(P2)に関しても, 日本サンプル, 韓国サンプルとも子ども版尺度のいずれの下位尺度とも相関は高くなっている。また, 対人積極性(P5), 向社

Table 10 父親版・母親版尺度と子どもの行動傾向(POEM)の相関(韓国サンプル)

	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9
F1	.2008**	.2009*	.0803	-.2385**	.2513**	.1697*	-.0668	-.0669	-.1732*
F2	.1601*	.1677*	.0916	-.1985*	.2954**	.1250 ⁺	-.1439*	.0064	-.2721**
F3	.1618*	-.0309	-.0079	-.0302	.1408 ⁺	-.0024	.0706	-.0453	-.1438 ⁺
F4	-.1021	-.0318	-.1227 ⁺	.1198	-.2306**	-.2059*	.1580*	-.1289 ⁺	.1358 ⁺
F5	.0711	-.1510 ⁺	-.0057	.0758	-.0400	-.1488 ⁺	.1108	-.2055*	.0374
M1	.3328**	.2715**	.1125 ⁺	-.2176**	.2143**	.3033**	-.1343 ⁺	.0787	-.1139 ⁺
M2	.2788**	.1640*	.0443	-.1229 ⁺	.2155**	.1485*	-.1445*	-.0352	-.2080**
M3	.1826*	.0895	-.0868	-.0299	.1560*	-.0276	.0642	-.0395	-.0646
M4	-.0175	.0054	-.0519	.0459	-.2570**	-.1131	-.0006	-.1619*	.2351
M5	-.0351	-.1919*	-.0756	.1445 ⁺	-.2271**	-.1428 ⁺	.1260 ⁺	-.1328 ⁺	.1933*

⁺p<.10 *p<.05 **p<.01

会性(P6)においても、日本サンプルの相関値が若干低いものの、相関の傾向は日本サンプルと韓国サンプルの間で類似していた。しかしながら、セルフコントロール(P3)では、両者の間で異なる相関パターンが認められた。韓国サンプルではCM2を除く子ども版下位尺度との間に1%水準で有意な相関が認められたのに対し、日本サンプルではCF3との間に有意な相関が認められたのみである。この結果は、日本の方が、親子関係のあり方と子どものセルフコントロールとの関係が薄いということを示しているとも考えられる。内的帰属(P8)においても、日本サンプルと韓国サンプルに差異が認められた。日本サンプルにおいてはCF2およびCM2と内的帰属に1%水準で有意な相関が認められ、CF3、CF1、CM3、CM1と内的帰属の間に相関は見られなかった。しかし、韓国サンプルにおいてはCF3、CF1、CM3、CM1と内的帰属の間に有意な相関があり、CF2およびCM2と内的帰属の間に有意な相関が認められなかった。すなわち、日本サンプルにおいては、父親および母親の支配に対する子どもの認知と内的帰属との間に相関が得られたのに対して、韓国サンプルではそれらの間に相関はみられなかった。一方、韓国サンプルでは、父親・母親の知

識に対する子どもの認知と父親・母親の愛情に対する子どもの認知と内的帰属との間に相関がみられたのに対して、日本サンプルでは、それらの間の相関はみられなかった。このように内的帰属については両国において反対の帰属パターンが認められた。外的帰属については、日本サンプルにおいてCF3およびCM3と外的帰属に1%水準で有意な負の相関が認められたが、韓国サンプルではすべての下次元と外的帰属に1%水準で有意な負の相関が認められた。日本サンプルでは、父親及び母親の愛情の子ども認知と外的帰属とが負に相関するのに対して、韓国サンプルでは、父親および母親の知識・支配・愛情に対する子どもの認知と外的帰属との間にすべて負の相関が得られている。

10 親子関係尺度(父親版、母親版)の結果と子どもの社会性の発達

本尺度と子どもの社会性との関連を調べるために、庄司(印刷中)が作成した児童用社会的スキル尺度を使用し、両者の相関を求めた。社会的スキル尺度は、共感・援助的かわり、積極的・主張的かわり、からかい・妨害的かわりなどの4つの下次元から構成されているが、本調査においては前述した3次元を使用した。

Table 11 子ども版尺度と子どもの行動傾向(POEM)の相関(日本サンプル)

	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9
CF1	.2365**	.2699**	.0502	-.1507*	.1398*	.1282*	.0314	.0135	-.0730
CF2	.1429*	.1883**	.0454	-.0922	.1714*	.1576*	.1561*	.2332**	.0169
CF3	.4105**	.3032**	.1310*	-.2151**	.1314*	.1763**	-.0797	.0471	-.2699**
CM1	.2683**	.2948**	.0556	-.1116 ⁺	.1799**	.1517*	.0708	.0209	.0226
CM2	.0984 ⁺	.1634*	.0521	.0070	.0916	.1429*	.1218 ⁺	.2115**	.0971 ⁺
CM3	.4729**	.2459**	.0517	-.1883**	.1159 ⁺	.1361*	-.1021 ⁺	-.0289	-.2003**

⁺p<.10 *p<.05 **p<.01

Table 12 子ども版尺度と子どもの行動傾向(POEM)の相関(韓国サンプル)

	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9
CF1	.3516**	.3968**	.2192**	-.3299**	.2729**	.2154**	-.2343**	.1896**	-.3400**
CF2	.2983**	.3815**	.2247**	-.2744**	.2613**	.1475*	-.1588*	.0843	-.2715**
CF3	.4951**	.4333**	.2733**	-.4091**	.3117**	.2308**	-.2400**	.2290**	-.3861**
CM1	.3495**	.3050**	.2342**	-.2527**	.1896**	.3246**	-.2507**	.1487*	-.2851**
CM2	.2238**	.3410**	.0468	-.2407**	.2067**	.2170**	-.0984	.0510	-.2332**
CM3	.4980**	.4593**	.2534**	-.3948**	.3343**	.2628**	-.1624*	.2304**	-.3522**

⁺p<.10 *p<.05 **p<.01

共感・援助的かかわりの次元の内部一貫性を調べるため、 α 係数を求めたところ、日本サンプルでは.71であり、韓国サンプルでは.58であった。つぎに積極的・主張的かかわりの α 係数を求めたところ日本サンプルでは.77であり韓国サンプルでは.73であった。さらに、からかい・妨害的かかわりの α 係数を求めたところ、日本サンプルでは.55であり、韓国サンプルでは.53であった。

父親版・母親版尺度と社会的スキルの関連について、まず日本サンプルに関してみると(Table 13)、F5と共感・援助的かかわりとの間に5%水準で有意な相関が見られた以外はF1からF4までと社会的スキルの間に有意な相関は認められなかった。また、M1と積極的・主張的かかわりの間に5%水準で有意な相関が認められた。M2と積極的・主張的かかわりの間に1%水準で有意な相関が認められた。F3と社会的スキル尺度の下位次元とのあいだに有意な相関は認められなかったが、M3と共感・援助的かかわりとのあいだに5%水準で有意な相関が、積極的・主張的かかわりの間に1%水準で有意な相関が認められた。M4およびM5と社会的スキルとの間に有意な相関は認められなかった。

韓国サンプル(Table 14)では、F4と共感・援助的かかわり、積極的・主張的かかわりの間に5%水準で有意な負の相関が認められた。F5とからかい・妨害的かかわりとの間に5%水準で有意な正の相関が認められた。M1と共感・援助的かかわりの

間に1%水準で有意な相関が認められた。また、M1と積極的・主張的かかわりおよびからかい・妨害的かかわりとのあいだに5%水準で有意な相関が認められた。M2と共感・援助的かかわりの間に5%水準で有意な相関が認められ、からかい・妨害的かかわりとの間に1%水準で負の相関が認められた。M4と共感・援助的かかわりの間に5%水準で有意な負の相関が認められた。

日本サンプルも、韓国サンプルも、母親の子どもへの関わりが父親のそれよりも子どもの社会的スキルに大きく影響している傾向がうかがえる。

11 親子関係尺度(子ども版)の結果と子どもの社会性の発達

日本サンプルについてみると(Table 15)、父親の愛情に対する子どもの認知(CF3)と共感・援助的かかわり(CS1)および積極的・主張的かかわり(CS2)とのあいだに1%水準で正の相関が認められた。からかい・妨害的かかわり(CS3)とのあいだには5%水準で負の相関が認められた。子どもの行動についての父親の知識に対する子どもの認知(CF1)と共感・援助的かかわり(CS1)および積極的・主張的かかわり(CS2)とのあいだに1%水準で正の相関が認められた。からかい・妨害的かかわり(CS3)とのあいだには1%水準で負の相関が認められた。母親の愛情に対する子どもの認知(CM3)と共感・援助的かかわり(CS1)とのあいだに1%水準で正の相関が、積極的・主張的かかわり(CS2)と

Table 13 父親版・母親版尺度と児童用社会的スキル尺度の相関(日本サンプル)

	F1	F2	F3	F4	F5	M1	M2	M3	M4	M5
CS1	.07	.04	-.01	.02	.15*	.03	.10 ⁺	.13*	-.02	-.02
CS2	.12 ⁺	.09	.03	.06	.05	.14*	.19**	.19**	.03	-.08
CS3	-.08	-.06	-.06	-.08	-.10 ⁺	.01	-.03	-.07	-.05	-.03

⁺p<.10 *p<.05 **p<.01

CS1: 共感・援助的かかわり

CS2: 積極的・主張的かかわり

CS3: からかい・妨害的かかわり

(以下同様)

Table 14 父親版・母親版尺度と児童用社会的スキル尺度の相関(韓国サンプル)

	F1	F2	F3	F4	F5	M1	M2	M3	M4	M5
CS1	.12 ⁺	.12 ⁺	-.01	-.19*	-.10	.17**	.17*	.13*	-.19*	-.14 ⁺
CS2	.10	.07	.03	-.17*	-.05	.14*	.08	.19**	-.13 ⁺	-.10
CS3	-.06	-.13 ⁺	-.06	.07	.17*	-.14*	-.20**	-.07	.04	.08

⁺p<.10 *p<.05 **p<.01

のあいだに5%水準で正の相関が認められた。からかい・妨害的かかわり(CS3)とのあいだには5%水準で負の相関が得られた。子どもの行動についての母親の知識に対する子どもの認知(CM1)と共感・援助的かかわり(CS1)および積極的・主張的かかわり(CS2)とのあいだに1%水準で正の相関が認められた。父母の支配に対する子どもの認知(CM2)と社会的スキルの下位次元には相関は認められなかった。

韓国サンプルにおいては、日本サンプルと異なる相関パターンが認められた(Table 16)。子どもの行動についての父親の知識に対する子どもの認知(CF1)と共感・援助的かかわり(CS1)および積極的・主張的かかわり(CS2)とのあいだに1%水準で正の相関が認められた。父親の支配に対する子どもの認知(CF2)と共感・援助的かかわり(CS1)のあいだには1%水準で正の相関が、積極的・主張的かかわり(CS2)とのあいだに5%水準で正の相関が認められた。からかい・妨害的かかわり(CS3)とのあいだには5%水準で負の相関が認められた。また、父親の愛情に対する子どもの認知(CF3)と共感・援助的かかわり(CS1)の間に1%水準で正の相関が、からかい・妨害的かかわり(CS3)とのあいだに5%水準で負の相関が認められた。子どもの行動についての母親の知識に対する子どもの認知(CM1)と共感・援助的かかわり(CS1)および積極的・主張的かかわり(CS2)とのあいだに1%水準で正の相関が認められた。母親の支配に対する子どもの認知(CM2)と共感・援助的かかわり(CS1)および積極的・主張的かかわり(CS2)とのあいだに1%

水準で正の相関が認められた。からかい・妨害的かかわり(CS3)とのあいだに1%水準で負の相関が認められた。このように韓国サンプルでは、日本サンプルで有意な相関の認められなかった父親および母親の支配に対する子どもの認知と子どもの社会的スキルの間に相関が認められた。すなわち、韓国においては、日本と異なり子どもの社会的スキルは親の統制の子どもの認知と密接な関係にあることを示唆していよう。

Ⅳ まとめ

はじめのところで述べた目的にそって、本研究の結果をまとめていくことにする。

まず、親子関係尺度についての信頼性については、検討の余地が残されているものの、おおむね信頼性が確認された。妥当性については、基準関連妥当性が確認された。

次に目的の①の「父親の養育特徴と子どもの全般的な行動傾向(教研式 POEM)との関係、および同じく母親の養育特徴と子どもの全般的な行動傾向との関係」について検討してみよう。日本サンプルにおいては、特に受容感と子どもの行動についての父親の知識(F1)および父親の支配(F3)との正の相関、不安傾向とF1との負の相関、子どもの行動についての父親の知識(F1)、子どもの行動についての母親の知識(M1)と対人積極性についての正の相関が確認された。日本においては、父親・母親の養育特徴と子どもの行動傾向との関係は、直接的な関係にないことがうかがえた。それに対し、韓国サンプル

Table 15 子ども版尺度と児童用社会的スキル尺度の相関(日本サンプル)

	CF 1	CF 2	CF 3	CM 1	CM 2	CM 3
CS 1	.20**	.10 ⁺	.29**	.27**	.11 ⁺	.27**
CS 2	.20**	.10 ⁺	.23**	.17**	.07	.12*
CS 3	-.20**	-.11 ⁺	-.15*	-.09 ⁺	-.08	-.13*

⁺p<.10 *p<.05 **p<.01

Table 16 子ども版尺度と児童用社会的スキル尺度の相関(韓国サンプル)

	CF 1	CF 2	CF 3	CM 1	CM 2	CM 3
CS 1	.21**	.24**	.24**	.20**	.30**	.18**
CS 2	.24**	.17*	.11 ⁺	.26**	.21**	.18**
CS 3	-.08	-.17*	.17*	.01	-.21**	-.13 ⁺

⁺p<.10 *p<.05 **p<.01

においては、それとほぼ対照的な結果が示されている。セルフコントロール、内的帰属において、父親および母親の養育特徴との有意な相関があまりみられなかったが、そのほかの子どもの行動傾向と親の知識や統制、愛情との相関では有意となるものが多かった。

日本よりも韓国のほうが、両親の養育特徴と子どもの行動との関係は、比較的直接的な関係にあると考えられよう。

本研究の目的②の「父親の養育特徴についての子どもの認知と子どもの全般的な行動傾向（教研式POEM）との関係、および同じく母親の養育特徴についての子どもの認知と子どもの全般的な行動傾向との関係」について検討する。日本サンプルにおいては、受容感(P1)、効力感(P2)、対人積極性(P5)、向社会性(P6)といずれの子ども版下位尺度との有意な相関が顕著であった。韓国サンプルにおいては、有意とならない相関はまれであり、親の養育特徴に対する子どもの認知と子どもの各種の行動特徴との関連性が日本以上に直接的な構造をもっているように思われる。

目的③の「父親の養育特徴と子どもの社会性（「友だち関係」調査）との関係、および同じく母親の養育特徴と子どもの社会性との関係」について検討する。日本においては、積極的・主張的かかわり(CS2)と子どもの行動についての母親の知識(M1)、自分の行動についての母親の認知(M2)、母親の支配(M3)との有意な相関、共感・援助的かかわり(CS1)と母親の支配(M3)とに有意な相関が見られた。韓国においては、子どもの行動についての母親の知識(M1)と共感・援助的かかわり(CS1)、積極的・主張的かかわり(CS2)との正の相関、からかい・妨害的かかわり(CS3)との負の相関がみられ、自分の行動についての母親の認知(M2)と共感・援助的かかわり(CS1)、母親の支配(M3)と共感・援助的かかわり(CS1)、積極的・主張的かかわり(CS2)との正の相関がみられた。日本・韓国いずれにおいても、社会的スキルは父親よりも母親の養育特徴との相関がみられることに特色があろう。

目的④の「父親の養育特徴についての子どもの認

知と子どもの社会性（「友だち関係」調査）との関係、および同じく母親の養育特徴についての子どもの認知と子どもの社会性との関係」について検討する。日本サンプルにおいては、父親の支配に対する子どもの認知(CF2)および母親の支配に対する子どもの認知(CM2)といった親の支配に対する子どもの認知と、社会性との相関がいずれも有意ではなかった点に特色がみられる。日本において、親の支配を認知することは、社会性形成にはあまり関係がないと示唆されよう。韓国では、子どもの行動についての父親や母親の知識に対する子どもの認知(CF1, CM1)や父親および母親の支配に対する子どもの認知(CF2, CM2)、さらに父親および母親の愛情についての子どもの認知(CF3, CM3)と子どもの社会性とは多くの点で相関がみられた。韓国においては、親の支配に対する子どもの認知も含めて親の養育特徴の子どもの認知と社会性との相関が、高い傾向を示し、日本とはやや異なっていた。

引用文献

- 新井邦二郎・高野清純・庄司一子・丹羽洋子・藤生英行・尹 熙奉・小林 真・広田信一・谷島弘仁 1993 新しい観点からの親子関係尺度の作成と検討 筑波大学心理学研究, 15, 133-146
- 浜口佳和・新井邦二郎 1991 児童の社会的コンピテンスへの接近法についての考察—場面特殊の内潜在的アプローチの提唱— 筑波大学心理学研究, 13, 185-202
- △ 庄司一子 印刷中 3章 子どもの社会的スキル 菊池・堀毛編「社会的スキルの心理学」川島書店
- △ 高野清純・海保博之・桜井茂男・岩立京子・渡辺弥生 1991 教研式POEM児童理解カード 図書文化社
- △ 詫摩武俊監修 1991 『発達研式親子関係診断検査手引き』 発達科学研究センター

—1993.9.30受稿—

付録

親子関係尺度（父親版，子ども版）
「友だち関係」調査質問紙

親子関係尺度(父親用)

このアンケートは、日頃あなたがどのようにお子さんに接しているかどうかを調べるためのものです。平素どのように接しているか、ありのままにお答えください。お答えは、下の例のように、「まったくあてはまらない」から「よくあてはまる」のいずれか一つの□の中に✓(チェック)印をつけて下さい。このアンケートはお父さん自身でお答え下さい。なお、一人ひとりの結果につきましては、公表はいたしませんのでご安心下さい。

	お父さん	お母さん
年齢	歳	歳
同居者	祖父 祖母 おじ おば その他()	

	第1子	第2子	第3子	第4子
子どもの年齢	歳 カ月	歳 カ月	歳 カ月	歳 カ月
子どもの性別	男, 女	男, 女	男, 女	男, 女

	まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	すこし あてはまる	よく あてはまる
例, 私は子どもにいつも100%の愛情をそそいでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	すこし あてはまる	よく あてはまる
1. 自分の子どもが、よその家に行ったときに、あいさつをしてるかどうか知っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 知っている人に会ったようなとき、無理にあいさつさせることはしない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 人から何かしてもらったときなど、子どもが、相手にお礼を言っているかどうか知らない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 子どもが、よそであいさつをしないとき、どのように注意しているか気づいていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	すこし あてはまる	よく あてはまる
5. 子どもがどこでどんな遊びをしようと、できるだけ禁止しないようにしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 子どもが、交通ルールを守っているかどうかわからない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 子どもが安全な場所で遊ぶようにどのくらい注意しているか自覚していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 時間を決めて子どもにテレビを見させるようにしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 子どものおけいこ事や勉強にどのくらい力をいれているかわかっていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 歯みがきするかどうかは、子どもにまかせている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 子どもがどんなおけいこ事や勉強が好きなのか知らない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 子どもの幼稚園や学校の事に、どれくらい取り組んでいるか自覚している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 友達とのケンカは絶対しないようにふだんから言って聞かせている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 子ども同士のケンカについては、口を出さないようにしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 子どもの遊ぶ時間は親が決めるようにしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. 子どもがどんないたずらをしているかわからない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 子どもがしているいたずらの内容についてどのくらい気をつけているか自覚していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. 子どもに歯みがきをさせるために、どのくらい力をいれているかどうか自覚していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19. 子どもがどんないきさつでケンカするか、知っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	すこし あてはまる	よく あてはまる
20. 子どもがだれとケンカしているかつかんでいない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21. 子どものケンカの扱い方についてどのくらい関心を持っているか知っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22. 子どもがどんな遊びが好きなか知らない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23. 子どもが遊び方についてどのくらい関心を持っているか意識していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

次の文章の下線の部分を読んで、用意されている2つの答えそれぞれについて、まったくあてはまらないから「よくあてはまる」のいずれか一つの□の中にℓ(チェック)印をつけて下さい。

1. 子どもが先生に、きまりを守らないで叱られて帰ってきたとき

	まったく あてはまらない	あまり あてはまらない	すこし あてはまる	よく あてはまる
①きまりを守らない理由が気になり心配だ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②将来悪い子になるのではないかと心配だ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2. 子どもが交通ルールを守らない場合

①子どもにはまだ理解できないことも多いのだと思うのだが、子どもにとって危険なので心配だ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②教えたことが守られないので心配になる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3. 子どもが勉強やおけいこ事をなまけているようだ

①勉強やおけいこ事を、子どもがなぜ嫌うのか、やる気が無いのかと気になる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②勉強やおけいこ事は、子どもの将来にとって必要なことなので、どうにかして勉強やおけいこ事をしてもらえないかと気になる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4. 子どもがテレビばかり見ることは

①子どもの話題が増えるので心配しない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

まったくあてはまらない あまりあてはまらない すこしあてはまる よくあてはまる

②テレビばかり見て将来勉強しなくなるのではと
思い心配だ

--	--	--	--

5. 子どもがカゼをひいているのに外出しようとしたら

①外出したい理由があるのだと思うが、とても心
配になる

--	--	--	--

②カゼをこじらせると大変なのに、外出したがる
のでイライラする

--	--	--	--

6. 子どもがケンカすると

①子どもの成長のためになると思い心配しない

--	--	--	--

②子どものためによくないと思いイライラする

--	--	--	--

7. 子どもが友達と遊んでばかりいるときは

①友達との遊びは子どものためになるので心配に
ならない

--	--	--	--

②子どものためにならないのでイライラする

--	--	--	--

8. 子どもがむだづかいばかりするときには

①気持ちはわかるが、子どものために良くないと
思い心配になる

--	--	--	--

②将来、浪費家になるのではと思い、心配だ

--	--	--	--

親子関係尺度(子ども版)

<1>あなたのお父さんやお母さんのふだんのことを知りたいと思います。次の文をよんで、お父さん、お母さんのそれぞれについて、あてはまるところに \vee をつけてください。

学校のせいせきにはかんけいありません。あまり長く考えないですぐに答えてください。

<れい>

お父さん(お母さん)は、いつもわたしのことをきびしくします

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん					お母さん				

<しつもん>

1. お父さん(お母さん)は、よその家^{いえ}に行ったらあいさつするようにと、いつもいいます

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2. お父さん(お母さん)は、わたしが学校のきまりをやぶっても、ぜんぜんきがつきません

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3. お父さん(お母さん)は、わたしのことをだいじに思ってくれています

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4. お父さん(お母さん)は、はみがきするようにといつもいいます

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

5. お父さん(お母さん)は、わたしがカゼぎみのときにもきがついてくれません

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

6. お父さん(お母さん)は、わたしのことを^{おも}思っ^{しか}て叱^{しか}ってくれます。

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

7. お父さん(お母さん)は、おけいごとや勉強^{べんきょう}については、うるさくいいません

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

8. お父さん(お母さん)は、わたしがおけいごとや勉強がすきかきらいかについてわかってくれています

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

9. お父さん(お母さん)は、わたしのことをいつもかわいがってくれます。

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

10. お父さん(お母さん)は、^{こうつう}交通ルールについて、いろいろちゅういします

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

11. お父さん(お母さん)は、わたしが交通ルールを^{まも}守っているか^し知っています

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

12. お父さん(お母さん)は、わたしのことについて^{こころ}心から^{しんぱい}心配してくれます

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

13. お父さん(お母さん)は、わたしがだれと^{なかよ}仲良くしているか知っています

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

14. お父さん(お母さん)は、わたしがだれと仲良くするかについて^{くち}口を^だ出します

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

15. お父さん(お母さん)は、いつもわたしの話し相手になってくれます

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

16. お父さん(お母さん)は、わたしがどこで遊ぶのかについてちゅういします

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

17. お父さん(お母さん)は、わたしが何を^{なに}して遊んでいるのか知っています

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

18. わたしは、お父さん(お母さん)に本当に^{ほんとう}愛^{あい}されていると感^{かん}じています

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

19. お父さん(お母さん)は、わたしが時間^{じかん}をきめてテレビ^みを見るようにいいます

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

20. お父さん(お母さん)は、わたしがどんなテレビを見るのか知っています

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

21. お父さん(お母さん)は、わたしのことをいつも^{おも}思っています

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

22. お父さん(お母さん)は、わたしのおこづかいの^{つか}使い方を^{かた}ちゅういします

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

23. お父さん(お母さん)は、わたしが^かおこづかいでどんなものを買っているのか知っています

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

24. お父さん(お母さん)は、わたしの^{きも}気持ちをいつもわかってくれます

	まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです		まったく ちがいます	すこし ちがいます	すこし そうです	とても そうです
お父さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お母さん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「友だち関係」調査質問紙

<2> 次の文について、あなた自身に一番よくあてはまるところに \square をつけてください。

れんしゅう

	まったく していない	あまり していない	ときどき している	いつも している
0. ^{やす} 休み時間 ^{じかん} に ^{こうてい} 校庭 ^{あそ} で遊ぶ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1. ^{とも} 友だちがこまっていたら ^{たす} 助ける。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 友だちが ^{しっぱい} 失敗すると、 ^{わら} つい笑ってしまう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. ^{とも} 友だちが ^{ひとり} 一人でさみしそうなときは、 ^{こえ} 声をかける。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 友だちが ^{なに} 何かをうまくしたときは、「じょうずだね」などとほめる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 友だちが ^{しっぱい} 失敗すると、はげましたり、なぐさめたりする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 友だちと ^{はなし} 話をしてるときには、 ^{だん} じょう談などを言って、話がはずむようにする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 友だちを「ばか」などとけなす。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	まったく していない	あまり していない	ときどき している	いつも している
8. 自分から友だちを遊びにさそう。 <small>じぶん とも あそ</small>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 友だちの話には、「うんうん」などとあいづちをうって、よくきく。 <small>はなし</small>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 友だちと話すときは、話したいことがたくさんある。 <small>はな</small>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 友だちと話をしたいとき、自分から声をかける。 <small>こえ</small>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 話の途中でだまってしまったら、自分の方から話す。 <small>ちゅう ほう</small>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 初めて会った人にも、気楽に話しかける。 <small>はじ あひと きらく はな</small>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 自分の意見がちがっていても、みんなで決めたことにはしたがう。 <small>いけん</small>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. こんなことを言ったら、あい手に悪い、と思うことは言わないようにする。 <small>わる</small>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. 友だちが良くないことをしていたら、注意する。 <small>ちゅうい</small>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. あい手と意見がちがっても、自分の意見を言う。 <small>て いけん じぶん いけん</small>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>